霧の旗（1965）

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 B&W
時間 111分
初公開日 1965/05/28

【解説】
松本清張の同名小説を橋本忍が脚色し山田洋次が監督した。倍賞千恵子が能面のように無表情で、復讐に燃える主人公を熱演。1977年には山口百恵主演で再映画化された。
柳田桐子は、熊本の老婆殺しの犯人として逮捕された兄の正夫を救うため、高名な大塚欽三弁護士の事務所を訪ねた。正夫の弁護を依頼する桐子だったが、大塚に断られてしまう。しかし事件のことが気になった大塚は、犯行の状況から犯人が左利きなのではと思い始める。正夫は無罪を訴えながら死刑となった。東京のバーで働き始めた桐子は、大塚に恨みを抱くようになった。知り合いの殺害現場に偶然居合わせた桐子は、大塚を陥れる計画を思いつき、実行に移すのだった。

【クレジット】
監督 山田洋次
製作 脇田茂
原作 松本清張
脚本 橋本忍　Shinobu Hashimoto
撮影 高羽哲夫
美術 梅田千代夫
音楽 林光
出演 倍賞千恵子
滝沢修
露口茂
新珠三千代
清村耕次
川津祐介
近藤洋介

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.